

道徳通信

大田区立馬込第三小学校
道 徳 部
令和5年10月13日
第 3 号

地域の力

9月9日（土）、10日（日）と馬込八幡神社大祭が開催され、各町会連合会がそれぞれ御神輿や山車を出し、町内を練り歩きました。子供たちも「ワッショイ」という元気な声を出し、子供神輿を担いでいました。地域の子供たちに喜んでもらおうと、お菓子やかき氷、冷たい飲み物などを準備し、安全に子供神輿が担げるように先導されている大人の姿を見ました。皆様の姿から、地域の子供たちに対する思いや願いを感じました。

道徳教育の充実に当たっては、家庭や地域社会と学校の連携・協力が必要です。今回の道徳通信では、地域社会について考えていきたいと思います。



中馬込貝塚町会の子供神輿

2年生の授業の様子

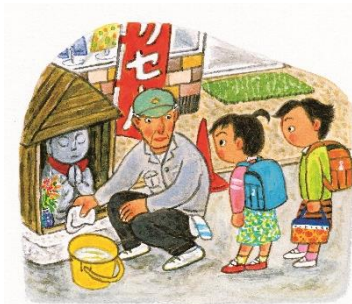
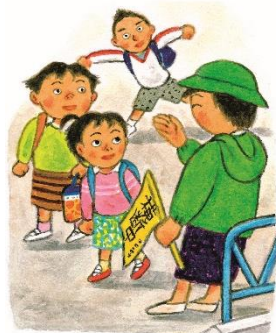
地域社会を題材にした教材は、全学年の道徳の教科書に掲載されています。

2年生「もっと知りたい、わたしの町」の授業の実践を紹介します。

教材名「もっと知りたい、わたしの町」

あらすじ

通学路の途中で会うおじいさんは、毎朝おじょうさまの周りを掃除しています。ちょっと怖そうで、私は「おはようございます」の挨拶ができません。横断歩道で旗を振り、安全を守ってくださる中村のおばさんは、優しく、いろいろな話をします。中村のおばさんから、おじいさんは、昔からおじょうさまの世話をしていて、とても優しい人であることを聞きます。思い切って声をかけると、おじいさんは、優しい笑顔で、おじょうさまは二百年以上も前からあること、町の大人や子供が安心して暮らせますようにと願いを込めて、町の人がずっと大事に守ってきたことを教えてくれました。通学路を振り返った私は、いつも通っている通学路が、何だか違った景色に見えました。



今回の授業では、ワークシートに書く活動を取り入れました。

書くことを通して、じっくりと自分自身を見つめ、自分が今までどのように地域社会と関わってきたかを考えました。その内容を発表したり、聞いたりしました。同じような体験をしていたとしても、感じ方や考え方は人それぞれです。自分自身を見つめたり、友達の考えと比べたりすることで、地域社会への思いを深めることを意図しました。



裏面へ

ワークシートに記入

全体に発表

授業は45分間を、大まかに「導入、展開、終末」と3つの段階で構想します。

導入は、授業の始めの5分間程度で、本時の授業についてどのような内容を考えるかを理解します。展開は、教科書を使いながら、登場人物と児童自身を重ね合わせて、その思いや願い、気持ちなどを考えます。教科書から離れて、自分自身を見つめる時間もあります。自分自身の生活や経験を振り返り、その時の気持ちや考えをじっくりと見つめます。終末は、授業のまとめとして、教師の体験談を話したり、詩を紹介したりします。

道徳科の授業は、必ずしもこのとおりではありませんが、一般的な例としてこのように授業を展開します。

導入	どのような内容を考えるかを理解する
展開	教材を通して考える 教材から離れて考える
終末	教師の体験談や詩の紹介などを紹介する



今回の授業では、事前に児童に自分たちの町の好きな場所をタブレットで写真に撮ってくるように伝えていました。導入では、その写真を紹介しました。

展開では、中村のおばさんと話しているとき、おじいさんから、おじょうさまの話聞いたとき、通学路を振り返ったときについて考えました。また、教材から離れて、自分たちの町の好きなところや自慢したいところをワークシートに書き、地域のよさをじっくりと考えました。

終末では、地域の人の思いや願いに触れた教師の体験を話しました。

教材から離れて考えた、自分たちの町の好きなところや自慢したいところを抜粋して紹介します。

自分たちの町で好きなところや自慢したいところはどのようなところですか

- ・貝塚公園が好きです。ぶらんこや滑り台で遊ぶのが楽しいです。鬼ごっこもします。
- ・わくわく公園が好きです。近くて楽しいからです。
- ・あまぬま公園が好きです。近くて練習を毎日やっています。
- ・洗足池が好きです。いろいろな鳥や生き物がいるからです。
- ・児童館が好きです。怒っているときや悲しいときに行くと、安心できるからです。
- ・荏原町には、お菓子屋さんがあるし、いろいろな種類のお店があるから、荏原町が好きです。
- ・〇〇歯医者さんは、痛くないです。
- ・家の前の坂が大好きです。自分やお母さんが生まれた時から通っている思い出の道だからです。
- ・家の前の坂が好きです。通ると気持ちがいいからです。
- ・本をいっぱい借りることができるから、馬込図書館が好きです。
- ・黄色い旗をもっているおじさんは、すごいな。いつも旗を振りながらみんなを守ってくれます。
- ・保育園の先生が好きです。優しいからです。

児童は、公園などの遊べる場所、坂道などの街並み、図書館、地域の人などを思い出していました。遊んで楽しい公園、怒ったり悲しかったりするときに行くと安心できる児童館、思い出の場所、心地よい風景、地域の人への感謝の気持ちなどについて考えていました。地域のよさや地域の人々の力があってのことだと思います。

